



● 感染予防対策について ●

中華人民共和国湖北省武漢市を中心に新型コロナウイルスに関連した肺炎が発生し、国内でも患者が確認されております。新型コロナウイルスに限らず、インフルエンザや風邪といったウイルス性の感染症が多い時期ですので、手洗いや咳エチケットの徹底など感染症予防を心掛けましょう。

○手洗いについて

手洗いは、椅子やドアノブなどに触れて、手指に付着したウイルスを物理的に除去するのに有効です。外出後や調理の前後、食事前などはこまめに石鹸やアルコール消毒液などで手を洗いましょう。

○咳エチケットについて

咳・くしゃみが出たら、他の人にうつさないためにマスクを着用しましょう。マスクは鼻からあごまでしっかり覆い、隙間がないようにします。マスクを持っていない場合は、ティッシュやハンカチなどで口や鼻をおさえましょう。



◎玄関正面の総合案内にもアルコール製剤を追加で置きました。ご利用ください。



正面玄関にマスク自動販売機（子供用と大人用）が設置されてます。マスクは在庫が少なくなっておりますので、一人一箱（2枚入り）の購入をお願いします。またアルコール製剤を置いてますので、手指消毒をお願いします。



○入院患者様の面会禁止について

- ◆現在、登米市ではインフルエンザの流行期は過ぎ、新型コロナウイルスの感染者は確認されておきませんが、感染予防対策のため、上記の対応と入院治療中の患者様への感染を広げないための措置として、面会の禁止を継続させていただいております。
- ◆ご高齢の方や基礎疾患（糖尿病・心不全、呼吸器疾患など）がある方は感染症に罹りますと重症化しやすい可能性が考えられます。入院治療中の患者様を感染症から守り、感染症を広げないための措置ですので、ご理解ご協力の程お願い申し上げます。
(入院や退院に関する手続き、病状説明、手術前後などの特に必要と認める場合は除きます。)

○熱がある方の待合スペース

本館1階の中央階段のとなりにスペースがあります。熱がある方は、受付後、こちらでお待ちください。入室・退室の際は手指消毒をお願いします。



○市民講座「市民病院のインフルエンザ対策」について

2月3日、患者様や介護施設の方々を対象に、当院のインフルエンザ対策と入院患者様の面会制限について、ご理解を深めていただくために開催しました。講座では、院長の松本医師や職員が感染予防対策について、手指消毒や咳エチケットの大切さなどを説明し、手洗いやアルコール消毒を実際に行いながら学びました。



● 新型コロナウイルス感染症について ●

○コロナウイルス(CoV)とは

人や動物の間で広く感染を引き起こすウイルスです。人に感染症を引き起こすものは、これまでに6種類が知られています。深刻な呼吸器疾患を引き起こすものはSARS - CoV（重症急性呼吸器症候群コロナウイルス）とMARS - CoV（中東呼吸器症候群コロナウイルス）の2種類で、その他は感染しても通常の風邪など重症ではない症状にとどまります。

【宮城県公式ウェブサイト:新型コロナウイルス感染症（COVID-19）について】引用

○感染経路について

新型コロナウイルス感染症の感染経路について、現時点で飛沫感染と接触感染が考えられています。

①飛沫感染

感染者のくしゃみや咳、つばなどの飛沫と一緒にウイルスが放出され、別の人があるウイルスを口や鼻から吸い込み感染します。

②接触感染

感染者がくしゃみや咳を手で押さえ、その手で周りの物に触れてウイルスが付きます。別の人がある物に触れたことでウイルスが手に付着し、その手で口や鼻を触れて粘膜から感染します。

◎手洗いやマスクの着用を含む咳エチケットなどの基本的な感染症対策の徹底をお願いします。また、栄養バランスのとれた食事をして、免疫機能を高めることが大切です。

飛沫感染

接触感染



○宮城県・国の電話相談窓口

○宮城県の相談窓口

新型コロナウイルス感染症に関する一般電話相談窓口

電話：022-211-3883

○国の相談窓口

厚生労働省新型コロナウイルス感染症電話相談窓口

電話：0120-565653（フリーダイヤル）